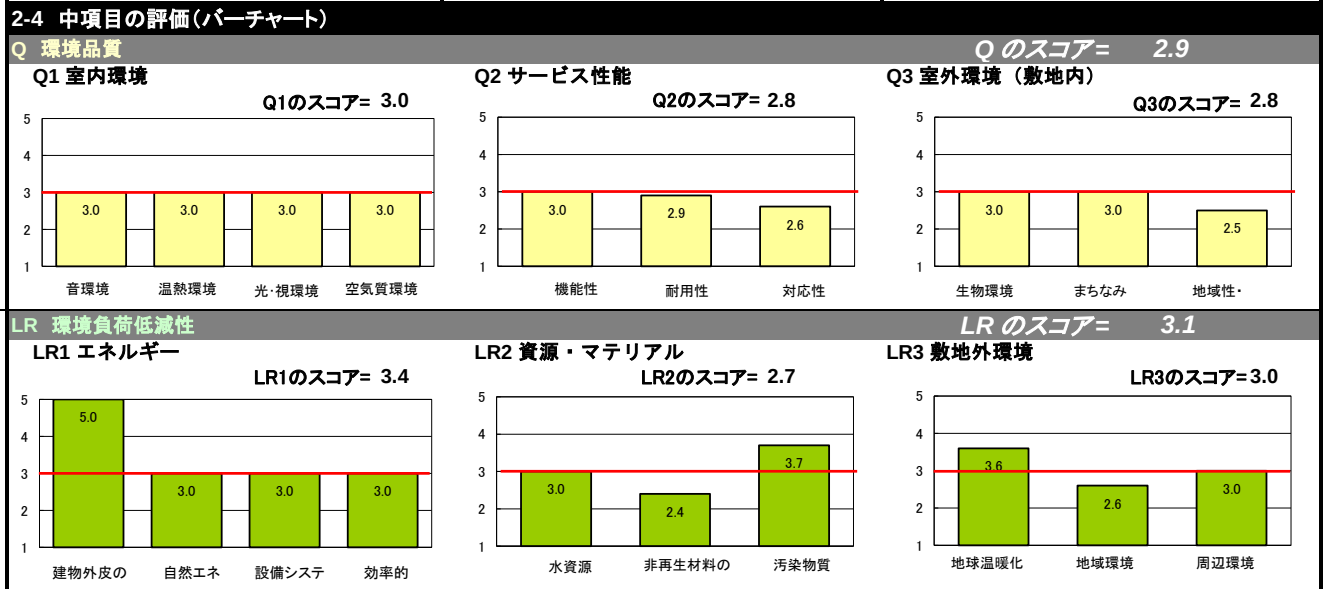
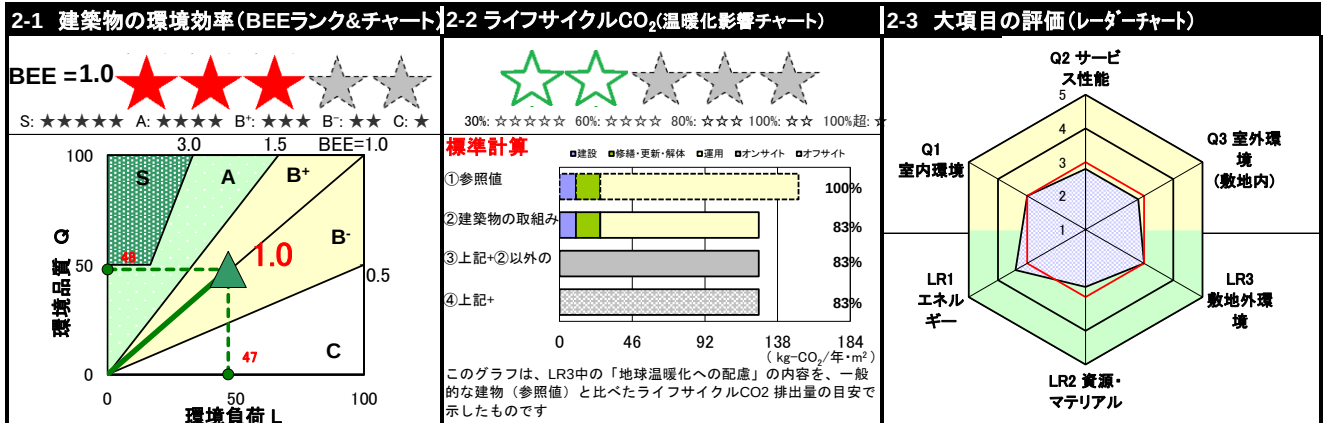


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	エクセレント 加古川 新築工事	階数	地上3F
建設地	加古川市別府町新野辺2263番,2264	構造	S造
用途地域	第3種高度地区、一種中高住専	平均居住人員	57 人
地域区分		年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年2月 0.0	評価の実施日	2023年3月20日
敷地面積	1,532 m ²	作成者	須川 真紀
建築面積	879 m ²	確認日	2023年3月20日
延床面積	2,276 m ²	確認者	須川 真紀



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
省エネルギー化の達成と良好な住環境の両立に努めた。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
ペアガラス・高性能ガラスウールを採用し、室内環境の向上に努めている	宿泊室に十分なスペースを持たせ、機能性や使いやすさの向上に努めている。	緑地計画等周辺地域に対しての良好な景観の維持に配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BPI _m = 0.64, BEI _m = 0.80	特になし	十分な駐車場・駐輪場のスペースを確保。広告物照明の計画なし。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される